＼＼子ども・若者支援情報メルマガ　Vol.79 2023.6月号 ／／

支援情報等のお知らせ

１）子ども・若者支援協議会からのお知らせ
①　「ヤングケアラー支援ワンストップ相談窓口」を開設しました！
②　調査報告：広域通信制高校に入学する生徒が千人を超えました！
③　群馬県不登校児童生徒等オンライン学習支援事業「オリナス」
④　県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会の参加者受付中

２）自立支援に関するイベント等の情報
①　群馬県社協ではオンラインの「ひきこもり居場所」を開設します
②　ひきこもり家族教室『関わり方の工夫～こんなときどうする？～
③　公益財団法人日本精神衛生会　第７９回精神保健シンポジウム
④　群馬県自閉症協会　伊勢崎一般セミナー（第３回）の案内
⑤　県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ２１」

３）民間活動団体等の紹介
①　高崎市　フリースクール「Small School MIRAI」

１　「ヤングケアラー支援ワンストップ相談窓口」を開設しました！

群馬県では、ヤングケアラー支援のためのワンストップ相談窓口を設置しました。（６月１日から受付開始）

ヤングケアラー本人や、ヤングケアラーを発見した関係者（学校、支援者など）が、どこに相談したら良いかわからないといった場合に気軽に利用してください。
相談窓口の支援コーディネーターが、電話相談を受けた後、本人が抱えている問題を分析するために必要に応じて訪問や面談等で対応し、関係機関（市町村、児童相談所、医療・福祉・介護）との調整・連携を行い、適切な支援サービスを提供していきます。
※相談したからといって必ず学校や市町村などに連絡するということではありません。関係機関につなぐ必要性等を判断しながら、相談者の気持ちに寄り添う支援をしていきます。

相談を受けるコーディネーターには社会福祉士等の資格を持った経験豊富な相談員（２名）を配置しています。
ヤングケアラーの支援に関しては、原因となる問題が様々であり、関係機関も多岐にわたることから、相談員の専門性を生かし、各機関と連携することで、必要な支援を受けられるように対応します。

この事業は、特定非営利活動法人「虹色のかさ」に群馬県が委託して実施しています。

【電話相談の専用ダイヤル】
　　０９０－１１５８－４１４０

注）受付時間　午前９時～午後５時（土日祝日、年末年始は休み）

特定非営利活動法人「虹色のかさ」のＨＰのこちらから
https://youngcarergunma.com/

【関連する情報】
＊群馬県「令和4年度群馬県ヤングケアラー実態調査」調査結果
報告書の公表について

https://www.pref.gunma.jp/page/191996.html

＊ヤングケアラー実態調査に関する報道記事＜上毛新聞2023/3/2＞
「小6の5.7%がヤングケアラー　群馬県が初の実態調査」

https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/248865

*ヤングケアラーに関する「こども家庭庁」の特設サイト

https://www.mhlw.go.jp/stf/young-carer.html

２ 調査報告：広域通信制高校に入学する生徒が千人を超えました！

多様な学び方の進学先として広域通信制高校（入学できる都道府県数が３カ所以上）への関心が高まっている中、本県では、令和４年度入学者数の実績が１，１７７人、３年度（８７３人）に比べ３５％増となりました。
令和５年度は５月時点で９８８人、３年度実績を上回っています。

県子ども・若者支援協議会では、県内の子どもたちの広域通信制高校（実施校）への進学実態を把握するため、実施校の分校（〇〇キャンパスや〇〇学習センター等）、実施校に在籍する生徒を学習面や生活面で支援するために実施校・設置者が提携を認めるサポート施設（通称「サポート校」）の協力を得て入学者数を調査しています。

【調査結果】
令和４年度実績
全入学者数　１，１７７人
（新入学６２３人、転入学５０３人、編入学５１人）
令和５年度（５月末現在）
全入学者数　９８８人
（新入学７２５人、転入学２２０人、編入学４３人）

上記の調査結果は県ＨＰでご覧いただけます。
https://www.pref.gunma.jp/page/3661.html

３ 群馬県不登校児童生徒等オンライン学習支援事業「オリナス」運用開始

群馬県教育委員会では、民間フリースクール「まなビバ！シリウス」に事業を委託して、学校内外の機関等につながりにくい児童生徒を対象に①オンライン学習支援及び居場所の提供と、参加児童生徒や保護者を対象にした②オンライン相談会の運用を５月から開始しています。

「オリナス」は、オンラインでつながり、会話や交流を楽しんだり、学びあったりしながら、学習意欲や自己肯定感を高め、子どもたち一人ひとりをたいせつにした場や社会的な自立に向けたさまざまな学びの機会を提供することを目的としています。
学校に行きにくさを感じている子どもたちを真ん中に、この事業を通してご家庭・学校等があたたかく手を携えていくことで、子ども自身が自分の道を力強く歩んでいけたらと願っています。

身近に小中学校の不登校に悩んでいる方がいたら、「オリナス」の

情報を提供してください。

①オンライン学習支援及び居場所の提供
　対象：学校内外の機関等につながりにくい児童生徒
　　（県内公立小中学校に在籍している小学４年生～中学３年生）
　内容：学びのサポート及び体験活動など
　日時：毎週火曜 午後１時～２時半
　　（毎月開催予定を送ります。児童生徒が参加したいタイミングで
　　ご参加ください）

②オンライン相談会
　対象：本事業に参加している児童生徒の保護者
　内容：保護者同士やスタッフとの相談や交流、情報交換
　日時：月１回開催
　　（お申し込みの方へ開催スケジュールをご案内しますので参加
　　可能なタイミングでご参加ください）

「オリナス」の詳細は「まなビバ！シリウス」のＨＰをご覧ください
　https://www.manavivasirius.com/gunma-online

　県教育委員会義務教育課では、すべての子どもたちが学び続ける
ために「不登校」で困っていたら、まず、学校に相談して欲しいと
呼びかけています。

■チーム学校（担任のほか、管理職や養護教諭、ＳＣ、ＳＳＷなど）
　でどのような支援ができるのか。

■学校と連携できる学校外の学び場（教育支援センターやフリースクール等）
　はどのようなものがあるのか。

　子どもの社会的な自立に向けてより良い方法を一緒に考えましょうと、
不登校の支援に関する情報を県ＨＰに掲載しています。
　是非、活用してください。
　https://www.pref.gunma.jp/page/100273.html

４　7/27 県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会の参加者受付中

　県子ども・若者支援協議会では、困難な状況に子ども・若者の支援
に携わっている方を対象に研修会を開催します。関心のある方は誰で
も参加できます。

　今回は「発達の特性を持つ子ども・若者の社会的自立を支援する」
～学校現場における困り感への対処と適切な環境づくりに向けた支援
機関の連携を考える～をテーマに、学校現場からの問題提起を受けて
二次的な問題を抱える子どもたちが「不登校・ひきこもり状態」にな
らないようにするために、関係機関が連携することで何ができるのか、
学校や家庭を支援する視点から専門家が意見交換を行います。

　■日時　令和５年７月２７日（木）１３：００～１５：００
　■会場　太田市宝泉行政センター　多目的ホール
　　（太田市西野谷町38-2）
　■内容
　（１）報告「学校現場における二次的な問題対応への困り感について」
　　学校現場が抱えている二次的問題への対応の困り感について
　　問題提起をしていただきます。

　　太田市教育委員会　学校教育課指導主事　岡田　毅氏

（２）パネルディスカッション
　二次的問題の発生を防ぐ視点から本人の適切な生活・学習環境作りに向けた具体的な手立てについて関係機関が連携することで何ができるのか意見交換を行います。

コーディネーター：ＮＰＯ法人リンケージ　理事長　石川　京子氏
助言者：みどりクリニック　院長・医学博士　鈴木　基司氏
登壇者
太田市教育委員会　学校教育課指導主事　岡田　毅氏
太田市子育てそうだん課　こども発達支援センター
「にじいろ」　三田　美由紀氏
群馬県東部教育事務所　特別支援教育専門相談員　山本　泰弘氏
群馬県東部児童相談所　補佐（発達支援係長）　赤石　美江氏

（３）まとめ　石川京子氏

■申込み
定員２００人（先着順）　期日：７月２０日（木）まで

【群馬県庁】ぐんま電子申請受付システムで申込みください
https://apply.e-tumo.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13469

【問合せ連絡先】
群馬県子ども・若者支援協議会
（県児童福祉・青少年課青少年育成係）
電話　027-226-2393
e-mail　kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

５　群馬県社協ではオンラインの「ひきこもり居場所」を開設します！

群馬県社会福祉協議会では、県内のひきこもり当事者、家族の方を対象にオンライン（ＺＯＯＭ）で参加できる居場所を開設します。

【ひきこもり当事者の居場所】
どこか誰かに繋がっていたい、社会参加の第一歩として
気軽に趣味の話や困っていることを共有しませんか？

ひきこもり当事者の居場所『humor～ユーモア』では、
あたたかい心で受け入れる準備はできています。

■開設：毎月第２火曜日　１４：００～１４：３０
■日程：６/１３　７/１１　８/８　９/１２　１０/１０　１１/１４
１２/１２　１/９　２/１３　３/１２
■対象：群馬県内にお住まいのひきこもり状態にあるご本人
■方法：ZOOM

■申込み方法：こちらのアドレスへ→g-soudan@g-shakyo.or.jp
『ユーモア参加希望』と書いてメールをお送りください。
こちらからURLを返信させていただきます。

【当事者の家族居場所の概要】
ひきこもり家族の居場所『ほっとたいむ』は、
ひきこもりに関する理解を深めながら、
ご家族ならではの困りごとや悩みを分かち合う交流の場です。

■開設：毎月第２水曜日　１４：００～１４：３０

■日程：６/１４　７/１２　８/９　９/１３　１０/１１　１１/８
　　１２/１３　１/１０　２/１４　３/１３
■対象：県内にお住まいのひきこもり状態にある当事者を抱える家族
■方法：ZOOM

■申込み方法、こちらのアドレスへ→g-soudan@g-shakyo.or.jp
　　『ほっとたいむ参加希望』と書いてメールをお送りください。
　　こちらからURLを返信させていただきます。

【注意事項】
・電子機器の用意や通信費用は自己負担になります。
・勧誘行為（特定の政党、宗教、ビジネス等）、暴言、大声、誹謗中傷、
　当事者の方ではない方の参加が見られる場合には退出を求めることが
　あります。求めに応じていただけない場合には強制退出となります。

　参加者の安心で安全な場となりますよう、皆さんのご協力をお願いします。

県社協のHPはこちらから
　https://www.g-shakyo.or.jp/news/56492.html

６ 6/22 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫～こんなときどうする？～』

　ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。
　ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

【参加者の声】
「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

「ひきこもり家族教室」への参加が、ご家族自身の気持ちにゆとりを持っていただく機会になれば幸いです。

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、
　本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて

　教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、

　下記連絡先までご連絡ください。

■家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。
　こちらからダウンロードしてください。
　https://www.pref.gunma.jp/07/p11710028.html#hikikomori

【６月の家族教室】
教　室：6月22日（木）13:30～16:00
内　容：『関わり方の工夫～こんなときどうする？～』
会　場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町３６８）
連絡先：ひきこもり支援センター
　　専用ダイヤル　027-287-1121
　　月～金 9:00～17:00 （ 祝日・年末年始は除く ）

※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

7 7/8 公益財団法人日本精神衛生会　第７９回精神保健シンポジウム

本シンポジウムは、群馬大学大学院医学系研究科神経精神学教室と共催で「連携で支える　ユース・メンタルヘルス」をテーマに開催されます。

【シンポジウムの概要】
コロナ禍を経て、子どもたちのこころの健康はますます重要な社会的課題になっています。本シンポジウムでは教育・福祉・医療の現場で行われているさまざまの取り組みをご紹介しながら、支援に有効な多職種連携の在り方を考えてみたいと思います。
どうぞ奮ってご参加ください。

日時:７月８日（土）13:00～16:30
会場:群馬大学医学部　基礎大講堂
前橋市昭和町3-39-22　群大医学部昭和キャンパス内
対象：教育、若者福祉、行政、心理、医療の関係者
参加費：無料（要予約　先着１００名）
問い合わせ／予約申込先
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室
FAX：027-220-8192 E-mail：ikeiko@gunma-u.ac.jp(担当：市川)

【登壇者】
第1部：基調講演
「ユース・メンタルヘルス支援ー人生に伴走する価値精神医学」
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教授　福田正人先生

第2部：現場からの実践報告
① 学校保健室から
群馬県立高崎女子高等学校　養護教諭　吉田真弓先生
② 小児科医療から
群馬大学医学部附属病院　小児科　堀越隆伸先生
③ 精神科医療から
群馬大学医学部附属病院　精神科神経科　藤平和吉先生

第3部：シンポジウム
「連携で支える一何を(what)，なぜ(why)，どのように(how)」
〇シンポジスト：
吉田真弓先生（群馬県立高崎女子高等学校養護教諭）
堀越隆伸先生（群馬大学医学部附属病院小児科医師）
吉野満由美先生（昭和村立南小学校校長）
宇部弘子先生
（日本体育大学児童スポーツ教育学部准教授，公認心理師，SC）
霜田浩信先生（群馬大学共同教育学部教授）
〇座長：藤平和吉先生（群馬大学医学部附属病院精神科医師）

＜まとめ＞
群馬大学大学院医学系研究科小児科学　教授　滝沢琢己先生

8 7/23 群馬県自閉症協会　伊勢崎一般セミナー（第３回）の案内

群馬県自閉症協会では自閉スペクトラム症についての正しい知識の獲得と情報交換の場として県内各地で一般セミナーを開催しています。
県子ども・若者支援協議会では、同協会からの情報提供をもとに本メルマガに随時掲載していきます。

一般セミナーはどなたでも参加できるので、希望される方は事務局に直接お申込みください。

注）参加申込みは事前予約制（当日受付はありません）です。

【伊勢崎会場】
日　時　７月２３日（日）10:00～11:45（受付9:45）
テーマ　「こころの健康　捉え方・付き合い方？」
講　師　柴田メンタルクリニック 保健師 北條千晴先生
会　場　伊勢崎市民プラザ　３階　第１・２実習室
（伊勢崎市富塚町２２０－１３）
参加費　一般５００円
申込み　090-5503-7671　甘田（13:00～17:00対応）
メール：k.amada1959@gmail.com

セミナーの詳細は自閉症協会のＨＰをご覧ください。
https://autism-gunma.com/

９ 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ２１」フリマサービスのトラブルは自分で解決！？

インターネット上で個人同士が商品などを取引できるフリマアプリ等のフリーマーケットサービス（フリマサービス）の利用が広がるなか、全国の消費生活センター等に寄せられる相談も増加しています。

フリマサービスで商品を購入した消費者（購入者）からの「商品が届かない」「壊れた商品・偽物等が届いた」等の相談だけでなく、出品した消費者（出品者）からの「商品を送ったのに、商品が届かない等を理由に商品代金が支払われない・商品代金の返金を求められた」等の相談もみられます。

フリマサービスは規約により、トラブルが生じた場合は個人間で解決するよう定められていることがほとんどです。
運営事業者を介さず直接自分で相手方と交渉が必要となるため注意が必要です。

【トラブル防止のポイント】
・フリマサービスは個人同士の取引であり、トラブル解決は当事者間で図ることが求められている点を理解して利用しましょう。
・利用規約等で禁止されている行為は絶対に行わないようにしましょう
・未成年者（子ども）がフリマサービスを利用する場合は、家族等で利用方法を十分に話し合いましょう

※詳しい内容はこちらをご確認ください（国民生活センターＨＰ）
https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20180222_1.html

★こまったら、まず相談！！
消費者ホットライン「１８８（いやや！）」

《お問い合わせ》
群馬県消費生活センター　０２７－２２３－３００１
https://www.pref.gunma.jp/05/c0900056.html

10 民間活動団体等　高崎市　フリースクール「Small School MIRAI」

　中学校に勤務している時から増え続ける不登校の子どもたちの受け皿となる場所ができないものかと思っていました。
　２年前、それまでの教職現場（１９年間）を離れ、民家をリフォームして子どもたちの居場所を自ら立ち上げることにしました。

　「Small School MIRAI」は学校に馴染めないでいる子どもたちを学校に戻すのが目的ではなくて、一人ひとりの自己肯定感を実現できることに重点を置いています。
　具体的には体験活動を中心に一人ひとりの「やりたいこと」を皆で出し合い、話し合いながらその日の計画を立てていきます。
　例えば、工作や散策、コミュニケーションを取るためのゲームなど、昼食づくりでは食材の買い出しから調理まで自分たちで行います。

　「自分たちで決めたことをやり遂げることで、失敗を受け入れることもできるし、それぞれに学ぶ意欲も沸いてくる。成功体験を積み上げていくことで自信にもつながっていく」と思います。日々、活動の様子をブログで発信しています。
　ご覧になった方のなかには、活動の趣旨に賛同して支援を名乗り出てくださる方もいます。

　５月現在の利用者は小中学生で１４人います。
　今春、自分から「学校に行ってみる」と言って離れていった子どもも複数いました。自信を持たせることで自己決定力を育むことができると改めて実感しています。

　日々の活動の様子はこちらをご覧ください。

　https://ameblo.jp/miraigroup2021/theme-10116166010.html

次号は、2023年7月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

▼　事務局　群馬県前橋市大手町１－１－１　群馬県生活こども部
　　児童福祉・青少年課内（県庁舎　１２階南フロア）
▼　ＴＥＬ　０２７－２２６－２３９３
▼　ＦＡＸ　０２７－２２６－２１００
▼　e-mail　kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
▼　ＨＰ　http://smilelife.pref.gunma.jp